はこだて医療・介護連携サマリー　Ｑ＆Ａ集

（Ｒ４年３月２８日 掲載予定分）

Ｑ１．文字を大きくしてほしい。FAXで送信した際は不明な箇所があると思われる。

Ａ１．記入欄の文字の大きさやフォントはご自由に変更していただいてかまいません。（特にプルダウン式に関しては調整しやすいと思います。しかし，スペースによっては枠からはみ出る項目もあるかと思いますのでご注意願います。）

各サマリーの基本ツール２と【フェイスシート版サマリー】のフェイスシート①②については，入力や変更ができないようにシートが保護されている状態ですので，シートの保護を解除する必要があります。解除手順は下記を参考に行ってください。

シートの保護の解除方法：各ページから，エクセル上部にある【校閲】タブを開き【シート保護の解除】をクリックすると文字の修正等が可能になります。（参考：（Ｒ２年６月４日 掲載分）Ｑ９と同様回答）

また，この先，ID-Linkを活用したICT連携を進めていくことで，サマリーをデータで共有することが可能となりますと，文字の見づらさ等については解消されることが見込まれます。

（Ｒ３年１１月８日 掲載分）

Ｑ１．基本ツール２に定期巡回を追加してほしい。

Ａ ： 基本ツール２のサービス内容をプルダウン式（選択式）に修正し「定期巡回」を追加いたしました。

Ｑ２．　・主食，副食の食形態，最終入浴，排便を記入するところがあると良いと思います。
・項目ごとに自由記載欄があると詳細情報を伝えられると思います。

Ａ ： プルダウン式の活用，選択項目の横の空白スペースをご活用ください。

Ｑ３．・生活面での問題（経済，家族，虐待疑いなど）も書きやすくしてほしい。
・既往歴の記入欄があると良いと思います。

Ａ ：生活面の詳細，既往歴等については，応用ツール⑱をご活用ください。
（参考：（Ｒ２年６月４日 掲載分）Ｑ５，別添 「応用ツール⑱はなんでも書けるシートです」）

Ｑ４．「義歯使用」の項目で「要アセスメント」の部分はどのような時にチェックを入れるのか？

Ａ ：義歯の有・無を選択後，有り無しにかかわらず，義歯に何らかの問題があり，アセスメントが必要な場合（歯科診療が必要な場合）に要アセスメントにチェックをお願いします。必要に応じて応用ツール④と応用ツール⑱をご活用ください。
（参考：上記内容を「作成マニュアル」追記いたしました）

（Ｒ３年３月５日 掲載分）

Ｑ１．１枚目の医療情報等の行数が３行で少ないと思います。

Ａ ：医療情報等に記載しきれない情報，既往歴等については，応用ツール⑱を使用ください。
（参考：（Ｒ２年６月４日 掲載分）Ｑ５，別添 「応用ツール⑱はなんでも書けるシートです」）

（Ｒ２年１０月３１日 掲載分）

Ｑ１．事業対象者，区変中等を記載する欄がほしいです。

Ａ ：「事業対象者」に関しては，基本ツールの「●基本情報等」内の「要介護度」欄の選択項目に含まれています。「区変中」は選択項目に追加いたしました。最新のサマリーをダウンロードしてご活用ください。

Ｑ２．基本ツールと基本ツール２の家族情報，ＰＣ入力でも反映されない為，手間が掛かるので見直してほしい。

Ａ ：Ｒ１年７月の活用状況調査にて同様のご意見をいただいており，Ｒ１年９月にサ

マリーを修正しております。Ｒ１年９月以前のサマリーをご活用の場合は，最新のサマリーをダウンロードしてご活用ください。
（参考：（Ｒ２年６月４日 掲載分）Ｑ１（Ｒ１年９月２４日 掲載分）Ｑ３）

Ｑ３．基本情報から氏名を入力した際にフェイスシート①の氏名欄にもフリガナが反映されると良いかと思います。

Ａ ：Ｒ１年５月に行った元号変更に伴う修正のタイミングにてフェイスシート①の氏名欄にもフリガナ表示がされるように修正しております。最新のサマリーをダウンロードしてご活用ください。

Ｑ４．このサマリーをそのままフェイスシート等に活用できれば使用の枠が広がると思います。

Ａ ：Ｈ３０年７月２６日にフェイスシート版サマリーを公開しております。是非ご活用ください。
（参考：下記 ホームページ公開時のお知らせ文）
介護関係者等からのご要望に基づき，介護サービス計画書作成の前提として具備しなければならない「課題分析標準項目」のうち「基本情報に関する項目」（注１）を網羅する様式として利用できるよう作成したものであり，これまでのサマリーの様式に加えてこの様式を出力できる機能が追加された内容になっております。
通常のサマリー作成と同じように情報を入力すると，フェイス①②のシートに反映されるかたちとなっており，基本ツール・基本ツール②に無い項目については，フェイス①②のシートに直接入力していただくことになります。
この様式は，あくまでも基本情報に関する項目を備えている様式としてご理解いただき，課題分析（アセスメント）に関する項目について網羅しているものではないことをご了承お願いします。
なお，この様式につきまして，函館市保健福祉部指導監査課にもご確認いただき，フェイスシートとして活用することについて了解をいただいておりますことを申し添えます。

※このフェイスシート版サマリーは，プルダウン式のみ作成しております。
ジェノグラム欄は，基本ツールとフェイス①どちらも作成していただくかたちになりますが，いずれかで作成したジェノグラムをコピーして貼り付けることが可能です。

注１ 「介護サービス計画書の様式及び課題分析標準項目の提示について」
（H11.11.12 厚生省老人保健福祉局企画課長通知）参照

（Ｒ２年６月４日 掲載分）

Ｑ１．①家族の連絡先だけでなく住所を書く欄も欲しい。（医療関係者より）
②基本ツールと基本ツール２に連絡先欄があるが，２ヶ所も必要なのか。急いで作成する時が多いので少しでも手間を省きたい。（介護関係者より）

Ａ ：①ご家族の住所等を伝達する場合，応用ツール⑱，もしくは基本ツール２をご活用いただければと思います。
②ＰＣ入力の場合，基本ツールに入力した連絡先情報等は，基本ツール２へ反映されるようになっています。そのため，基本ツール２の連絡先情報は空欄部分を記入していただくだけですむよう工夫しております。
また，基本ツール２は入院時情報連携加算の算定時に「必要な情報」を補足追加しているものになります。（参考：（Ｒ１年９月２４日 掲載分）Ｑ３）

Ｑ２．絶食欄があっても良いと思いますが，応用ツール⑱で内容（詳細）を記入し，問題ないかと思っていました。
食事内容，水分（とろみの形態）の欄が欲しい。
義歯が全部か一部か。リハパン＋パット，リハパンのみなど分かるようにしてほしい。
入院時に病院から尋ねられるのが，アレルギー，禁食，最終排便，最終入浴。

Ａ ：フェイスシート版，プルダウン式サマリーになりますが，「●身体・生活機能等」の各項目の横にある空白スペースを備考欄として入力できるようにセルを結合しております。
また，基本ツールに書ききれない内容に関しては，応用ツール⑱をご活用ください。
（参考：（Ｒ１年９月２４日 掲載分）Ｑ１，（Ｈ３１年３月１２日 掲載分）Ｑ２）

Ｑ３．「バルーンカテーテル留置」はＡＤＬ情報に交換日などが入力できるようにしてはどうでしょうか。
主食形態（主食・副食）の記入欄が欲しい。

Ａ ：バルーンカテーテル留置の場合は，応用ツール⑩に，食形態に関しては応用ツール④をご活用いただくことを前提に，Ｑ２のアンサーも参考にしていただければと思います。

Ｑ４．「身体・生活機能等」の記入欄をもう少し大きくしてほしい。

Ａ ：スペース的に記入欄を大きくすることは難しいのですが，セルの設定を折り返して全体を表示できるようにフェイスシート版，プルダウン式サマリーを更新いたしました。現サマリーの文字の大きさで最大３８文字の入力が可能となります。

Ｑ５．医療情報の項目が３行と少ないこと。「発症年月日」の項目も欲しいです。

Ａ ：「●医療情報等」の「主病名」欄に主病名とともに発症年月日（例：高血圧（Ｒ〇.〇.〇発症）」と入力されている方もいらっしゃるようです。
上記のようにご対応いただけますと幸いです。医療情報の項目追加に関しては，応用ツール⑱をご活用願います。

Ｑ６．シート２枚目の「週間スケジュール」は，先方には同時にケアプランもお渡しすることが多いため不要で，替わりに「住環境」等，別の項目にしてはいかがでしょうか。

Ａ ：基本ツール２は入院時情報連携加算の算定時に「必要な情報」を補足追加しているものになります。国が示す入院時情報連携加算の算定可能な情報提供の項目は基本ツールと基本ツール２の両方の情報となります。しかし，ご指摘のようにケアプランを添付される場合は，基本ツール２の「医療・介護サービス利用状況」に関しての入力は不要と考えます。「住環境」に関しては基本ツールの「居住」の項目がございますが，その他の詳しい情報の提供には是非応用ツール⑱をご活用ください。

Ｑ７．家族構成図が作りづらい。文字入力が縦書きになっているなどダウンロードのままでは使いづらい。

Ａ ：縦書き・横書きのテキストＢＯＸを参考として追加しております。必要時にはコピーしてご使用いただければと思います。
（参考：（Ｈ３０年１０月３０日 掲載分）Ｑ５）

Ｑ８．入院時に使用の際，入院までの経過を書くのがどこか指定されていた方が良い。

Ａ ：応用ツール⑱をご活用ください。

Ｑ９．フォントが小さすぎてＦＡＸでは字がつぶれる。

Ａ ：記入欄の文字の大きさやフォントはご自由に変更していただいてかまいません。
（特にプルダウン式に関しては調整しやすいと思います。しかし，スペースによっては枠からはみ出る項目もあるかと思いますのでご注意願います。）
各サマリーの基本ツール２と【フェイスシート版サマリー】のフェイスシート①②については，入力や変更ができないようにシートが保護されている状態ですので，シートの保護を解除する必要があります。解除手順は下記を参考に行ってください。

シートの保護の解除方法：各ページから，エクセル上部にある【校閲】タブを開き【シート保護の解除】をクリックすると文字の修正等が可能になります。

（Ｒ１年９月２４日 掲載分）

Ｑ１．食事摂取困難でない場合，食事の内容について書くスペースがあれば良いと思います。

Ａ ：フェイスシート版，プルダウン式サマリーになりますが，「食事摂取」の項目の*食形態，*食動作の横，または「食事・水分制限」の項目の横にある空白スペースを備考欄として入力できるようにセルを結合しております。
また，基本ツールに書ききれない内容に関しては，応用ツール⑱（特記事項）をご活用ください。（参考：（Ｈ３１年３月１２日 掲載分）Ｑ２）

Ｑ２．ＡＤＬ（基本ツール）の部分ですが具体的な状態や支援内容（ズボンの上下おろしはできるなど）が記載できると良いと思いました。

Ａ ：Ｑ１の回答と同様（参考：（Ｈ３１年３月１２日 掲載分）Ｑ２）

Ｑ３．連絡先を１枚目に記入したら，そのまま２枚目にもとばして住所のみ記入できれば使いやすい。

Ａ ：基本ツールに入力した情報が基本ツール２に反映するように修正いたしました。
フェイスシート版も同様に修正しております。

Ｑ４．家族構成図を簡単に入力できるようにして欲しい。

Ａ ：過去の回答と同様（参考：（Ｈ３０年１０月３０日 掲載分）Ｑ５）

（Ｈ３１年3月１２日 掲載分）

Ｑ１．前回作成した応用ツールをコピーして使用しているが，応用ツールの氏名と生年月日の項目が元の書式が維持されず，ずれていってしまう。（基本ツールは作成していない）

Ａ ：応用ツールの氏名と生年月日は，直接入力するのではなく，基本ツールの氏名と生年月日を入力すると自動的に反映されます。基本ツールを作成する必要がない場合でも，氏名と生年月日，その他自動的に応用ツールに反映される設定になっている項目に関しては，事前に基本ツールに入力されることをお勧めいたします。
（参考：はこだて医療・介護連携サマリー作成マニュアル 《応用ツール》）

Ｑ２．フェイスシート版を利用していますが，基本ツールの『●身体・生活機能等』の項目の空白部分を備考欄として記載しているのですが，フェイスシートに反映されず，少し不便を感じています。

Ａ ：フェイスシート版，プルダウン式サマリーの『●身体・生活機能等』の項目の空白部分を備考欄として入力できるようにセルを結合いたしました。また，フェイスシート版に関しましては，フェイスシートに反映できるように改善いたしました。

（Ｈ３０年１０月３０日 掲載分）

Ｑ１．日付入力が西暦だと入力しづらいので，元号年度の入力にしていただけると助かります。

Ａ ：基本ツールは，ＰＣ入力の場合[OOOO/OO/OO]，[SOO.OO.OO]のいずれの方式で入力しても，生年月日であれば和暦に，作成日であれば西暦に自動で入力されます。スラッシュ[/]，ピリオド[．]，どちらも同様に入力が可能です。
（参考：はこだて医療・介護連携サマリー作成マニュアル）

Ｑ２．応用ツールの作成年月日を，和暦ではなく基本ツールと同じ西暦にしてはどうか。

Ａ ：応用ツールは元号変更を考慮して，あえて元号を入れておりません。必要に応じて元号を入力していただいたり，西暦で入力してご使用いただければと思います。

Ｑ３．応用ツール⑱の記載時，改行ができず，ただ文章を書く状態になってしまいます。

Ａ ：改行する場合は，Ａｌｔキーを押しながらＥｎｔｅｒキーを押していただくと改行できます。
（参考：はこだて医療・介護連携サマリー 応用ツール⑱ 特記事項 コメント）

Ｑ４．全体として居宅の基本情報として併用できれば手軽に利用できると思う。
在宅での本人の意向，家族の意向を勝手に欄を設けてつけたしているので，最初からあればＡＤＬ・ＩＡＤＬの用紙を足せばケアマネが作る基準を満たせると思う。

Ａ ：Ｈ３０年７月２６日に『フェイスシート版サマリー』を当センターホームページに掲載しておりますので，ご活用いただければと思います。
（参考：当センターホームページ「サマリーについて」Ｈ３０年７月２６日掲載）

Ｑ５．ジェノグラムに他のワードからコピー挿入できれば，又は参考バージョンがあれば良いと感じた。
Ａ ：参考となる図は各種のサマリーのジェノグラム欄に追加しておりますので，ご活用ください。
また，ジェノグラム作成フリーソフト等を使用して，図として貼り付ける方法をとられている方もいるようです。

Ｑ６．応用ツール⑱について…入院の利用者様に利用時①最終バイタル②最終排便③特記事項について，項目が無かったので追加記載しました。多くの疾患をかかえている利用者様の場合，応用ツールの特定がしにくい場合があり，⑱に自由記載することのほうが多い。

Ａ ：できるだけ簡略化しているため，全ての項目を網羅できないことをご理解いただければと思います。

Ｑ７．できるだけ時間をかけたくないので，服薬情報は薬情をコピーしたいが，「応用ツール①付帯情報管理」の「⑤その他文書名」にチェックして入れていいか。

Ａ ：その通りになります。「応用ツール①付帯情報管理」の「⑤その他」にチェックを入れていただき，「文書名⇒」に「薬情」と記載し，その他必要な情報がありましたら，備考欄にご記載ください。

Ｑ８．応用ツール⑩「膀胱留置カテーテル管理」の記載方法について，「５．使用器具」「６．消毒薬・衛生材料」について退院時に持たせる訳ではないが，何を記載したらいいのか。

Ａ ：現在の状況を記載してください。その際に交換用セットに含まれている物と重複しないようご注意ください。

Ｑ９．入院中の患者さんが，今後介護付き有料老人ホームへ退院予定であるが，介護施設側から退院時に「はこだて医療・介護連携サマリー」で情報をもらうと加算がとれると言われた。
①介護付き有料老人ホームでとれる加算はあるのか。
②その際の情報提供は，はこだて医療・介護連携サマリーを使わなくてはいけないのか。

Ａ ：①平成３０年度の介護報酬改定で，特定施設入居者生活介護施設でも退院・退所時連携加算が算定できることとなっております。
②サマリーの使用指定はしておりません。内容に関しては，厚労省から必須要件は出されておりませんが，参考例としては書面で示されています。しかし，必ずしもこの様式で情報提供をする必要がある訳ではなく，それぞれの病院の様式で情報提供されてもまったく問題はありません。